UNITED NATIONS
Office for Outer Space Affairs

記者発表資料
H30 年 11 月 19 日（金）
14:00 発表（JST）

プレスリリース
平成 30 年 1 月 19 日
国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構

国連宇宙部(UNOOSA)

JAXA と国連宇宙部との連携協力(KiboCUBE)に基づく
第 1 回選定のナイロビ大学衛星の JAXA への引き渡しについて

平成 30 年 1 月 16 日、筑波宇宙センター(TKSC)において、第 1 回 KiboCUBE として選定された、ケニア共和国ナイロビ大学の超小型衛星(衛星名:1KUNS-PF)が JAXA に引き渡されました。本年春頃の ISS の「きぼう」日本実験棟からの放出を目指し、準備を進めてまいります。

KiboCUBE は、平成 27 年 9 月に国連宇宙部と JAXA の間で能力開発イニシアチブとして、発展途上国等の宇宙関連技術向上への貢献等を目指し、「きぼう」からの超小型衛星放出の利用機会提供の協力を行うプログラムです。今回 JAXA に引き渡しされた、ナイロビ大学の 1KUNS-PF は、2016 年 8 月に JAXA と国連宇宙部が共同して選定し、ケニア初の衛星として開発・運用されるものです。

1KUNS-PF(1st Kenyan University Nano Satellite-Precursor Flight)のスケジュール
・平成 30 年 1 月 16 日　JAXA に衛星引き渡し
・平成 30 年 3 月頃　国際宇宙ステーション(ISS)へ打上げ
・平成 30 年春頃 「きぼう」日本実験棟より、ロボットアームにより放出

○関係者のコメントは別紙をご参照下さい。

筑波宇宙センターでのナイロビ大学衛星引き渡し

引き渡し確認書を受領するケニア側関係者

（左から）ケニア宇宙機関 John Njoroge Kimani 氏、在日ケニア大使館 Solomon K. Maina 大使、ナイロビ大学 Jackson Mwangi Mbuthia 教授、JAXA 田崎一行・きぼう利用センター長、JAXA若田光一・ISSプログラムマネージャー、JAXA三宅正純・調査国際部長

（参考 1）
国連宇宙部との連携協力（KiboCUBE）については、以下のプレスリリースを参照ください。

発展途上国等の宇宙関連技術向上への貢献等を目指した「きぼう」からの超小型衛星放出の利用機会提供に係る国連宇宙部とJAXAとの連携協力の開始について（平成 27 年 9 月 8 日）

（参考 2）第 3 回 KiboCUBE（現在応募中）について
応募機関：平成 29 年 9 月 26 日～平成 30 年 3 月 31 日
詳細は、こちら
（http://www.unoosa.org/oosa/en/ourwork/psa/hsti/kibocube/2018.html）をご参照下さい。

（別紙）関係者のコメント）

●JAXA 若田光一 ISS プログラムマネージャ／有人宇宙技術センター長のコメント
第 1 回 KiboCUBE として JAXA と国連宇宙部の共同で選定されたケニア共和国ナイロビ大学の超小型衛星（1KUNS-PF）が無事に JAXA に引き渡された事を嬉しく思います。国際宇宙ステーション（ISS）では「きぼう」日本実験棟だけが有する衛星放出機能により、ケニア共和国初の人工衛星の放出ミッションを成功させるために、着実に準備を進めて行きたいと思います。
I am pleased that the First KiboCUBE CubeSat “1 KUNS-PF” which was developed by the University of Nairobi of the Republic of Kenya and jointly selected by the United Nations Office for Outer Space Affairs (UNOOSA) and JAXA as the first KiboCUBE, was successfully handed over to JAXA. At JAXA, we are committed to making every effort to prepare for the successful deployment of the Republic of Kenya’s first satellite utilizing the unique capability of the Japanese Experiment Module “Kibo” on the International Space Station.

●国連宇宙部 Di Pippo 部長（UNOOSA Director Ms.Simonetta Di Pippo）のコメント

（意訳（JAXA 訳））
国連宇宙部は、JAXA との KiboCUBE プログラムにおける協力を通じて、途上国に対し宇宙へのアクセスを提供できることを誇りに思います。ナイロビ大学からの衛星引き渡しは、第 1 回 KiboCUBE プログラムにとって重要な出来事であり、今後の活動を引き続き楽しみにしています。KiboCUBE プログラムは、国連宇宙部とそのパートナーが共同して、途上国に対する宇宙科学・技術のアクセスと使用を可能にし、途上国の発展に貢献する代表例となっています。
The United Nations Office for Outer Space Affairs is very proud of its partnership with JAXA to provide access to space for developing countries through the innovative KiboCUBE programme. This handover ceremony from the University of Nairobi is a significant step in the first round of this programme, and I look forward the next milestones in this exciting initiative. The KiboCUBE Programme is bound to become a model of collaboration between UNOOSA and its partners to develop the capabilities of developing nations in accessing and using the benefits of space science and technology.

●ナイロビ大学　Jackson Mwangi Mbuthia 教授のコメント
（意訳（JAXA 訳））
2018 年 1 月 16 日、JAXA 筑波宇宙センターにて、ナイロビ大学のチームが JAXA に 1st Kenyan University Nano Satellite （1KUN)を無事引き渡したことを嬉しく思います。1KUNS-PF は、ケニア初の衛星として開発され、またナイロビ大学によって運用される初めての衛星です。ナイロビ大学の 1KUNS-PF チームは、UNOOSA と JAXA の共同プログラムである第 1 回 KiboCUBE に選ばれました。
I am delighted that on January 16, 2018, at the JAXA Tsukuba Space Centre, the University of Nairobi team handed over the 1st Kenyan University Nano Satellite (1KUNS) to JAXA for deployment through the JAXA KiboCube. The 1KUNS-PF is the first Satellite to be developed by Kenya and first Satellite to be operated by a Kenyan University. The University of Nairobi 1KUNS-PF team won the first opportunity to launch 1U Cubesat under the KiboCube program between UNOOSA and JAXA.